

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

「そうた」は小学四年生。
クラスでなわとび大会があると聞いたとき、そうたの心は少ししずんだ。

先生が黒板に日付を書いたのを見て、むねのあたりがきゅっとした。

そうたは、二重とびがうまくできず、いつもとちゅうでつまずいてしまうからだ。

休み時間に友だちが楽しそうになわとびをしているのを見ると、なんとなく近づきにくかった。

家に帰っても、なわとびを出す気になれず、ランドセルをおろしたまま、しばらく机の前にすわっていた。

窓の外では、子どもたちの声が聞こえているのに、そうたは動けなかった。

「どうせ、うまくできないし。」

そう思うと、むねのあたりが少し重くなった。

次の日、体育の時間にれんしゅうが始まった。

みんなが次々と二重とびにちようせんする中で、そ

うたは、後ろのほうでなわをゆっくり回していた。

足がなわに引っかかるたびに、顔が少しあつくなくなる。

すると、となりにいた「ゆうき」が声をかけてきた。

「さっきの飛ぶタイミング、前よりよかったよ。」

そう言われて、そうたは少しびっくりした。

自分では、まったく上手になっていないと思っていたからだ。

ゆうきは、「ひざを少し高くするといいかも」と、手で動きを見せてくれた。

その日の帰り道、そうたは、いつもよりゆっくり歩いた。

夕方の空は少し赤く、風もつめたく感じたけれど、心の中は、さっきより少しだけ軽くなっていた。

「もう一回だけ、やってみようかな。」

そう思うと、家に着く前から、なわとびのことを考えていた。

家の前で、そうたはなわとびを取り出した。

何回かつまずいたけれど、あきらめずに続けていると、二回、三回と続けてとべた。

息が少しあらくなり、足もつかれたけれど、そのとき、思わず「よし」と小さな声が出た。

むねのあたりが、さっきよりもあたたかくなった気がした。

家に入ると、そうたは、なわとびをそっとかばんの横に置いた。

大会の日、そうたの心は、まだ少しドキドキしていた。

体育かんの中はいつもより広く感じて、まわりの声も大きく聞こえた。

でも、なわを持つ手は、前ほどふるえていなかった。うまくいかないかもしれない。それでも、やってみよう。

そう思っるとんだとき、そうたは、自分の中に、少しだけ自信が生まれているのを感じた。

とび終わって列にもどると、ゆうきが小さくうなずいてくれた。

そうたは、はあっと息をはいて、前を向いた。

「また、れんしゅうしてみよう。」

そう思ったことが、そうたには少しうれしかった。



(1) そうだが、なわとび大会の話聞いたとき、心がしずんだ理由として、いちばん合っているものを選びましょう。

- ① 友だちがだれも出ないと思ったから
- ② 二重とびがうまくできず、失敗するのがこわかったから
- ③ なわとびがきらいだから
- ④ 家でれんしゅうする時間がないと思ったから

(2) 文中の「むねのあたりがきゅっとした」とありますが、そうたはなぜそう感じたのですか。本文の内容に合わせて二十字以内で書きましょう。



(3) つぎの（ ）に入る言葉として、文章の流れとそうたの気持ちの変化にいちばん合うものを、①～④から一つ選びましょう。

ゆうきに「前よりよくなった」と言われた帰り道、そうたは、心が少し軽くなり、「() ①」と思いながら、なわとびのことを考えて家に向かった。

- ① どうせできないから、もうやめてしまおう
- ② 大会の日まで、毎日れんしゅうしなければなら
- ③ もう一回だけ、やってみようかな
- ④ 友だちにまかせて、自分は見ていよう

(4) つぎの出来事を、文章の流れに合うように正しい順番に並べましょう。

- ① そうたは、大会があると聞いて不安になった。
- ② ゆうきが、とぶタイミングがよくなったと言った。
- ③ 大会の日、そうたはなわを持ってとんだ。
- ④ 家の前で、そうたはなわとびのれんしゅうをした。



(5) 家の前でれんしゅうをしたあと、そうたの気持ちとして、文章の内容に最も合っているものを選びましょう。

- ① 何度かとべたことで手ごたえを感じ、まだ不安はあるが前向きに続けてみようと思った。
- ② 少しとべても気持ちは変わらず、やめたいという思いのほうが強くなった。
- ③ うまくいかない気持ちが強くなり、これから失敗がつづくと思った。
- ④ うまくいかないと考え、れんしゅうは友だちにまかせようと思った。

(6) 話の最後で、そうたはどんな気持ちになったと考えられますか。文章の内容をもとに、そうたの気持ち分かるように書きましょう。



(1) そうだが、なわとび大会の話聞いたとき、心がしずんだ理由として、いちばん合っているものを選びましょう。

- ① 友だちがだれも出ないと思ったから
- ② 二重とびがうまくできず、失敗するのがこわかったから
- ③ なわとびがきらいだから
- ④ 家でれんしゅうする時間がないと思ったから

(2) 文中の「むねのあたりがきゅっとした」とありますが、そうたはなぜそう感じたのですか。本文の内容に合わせて二十字以内で書きましょう。

解答例)
人前で二重とびをするのが苦手で不安になったから

(3) つぎの()に入る言葉として、文章の流れとそうたの気持ちの変化にいちばん合うものを、①～④から一つ選びましょう。

ゆうきに「前よりよくなった」と言われた帰り道、そうたは、心が少し軽くなり、「() ①」と思いながら、なわとびのことを考えて家に向かった。

- ① どうせできないから、もうやめてしまおう
 - ② 大会の日まで、毎日れんしゅうしなければなら
 - ③ ない
 - ④ もう一回だけ、やってみようかな
- 友だちにまかせて、自分は見ていよう

(4) つぎの出来事を、文章の流れに合うように正しい順番に並べましょう。

- ① そうたは、大会があると聞いて不安になった。
- ② ゆうきが、とぶタイミングがよくなったと言った。
- ③ 大会の日、そうたはなわを持ってとんだ。
- ④ 家の前で、そうたはなわとびのれんしゅうをした。

① ↓ ② ↓ ④ ↓ ③

(5) 家の前でれんしゅうをしたあと、そうたの気持ちとして、文章の内容に最も合っているものを選びましょう。

- ① 何度かとべたことで手ごたえを感じ、まだ不安はあるが前向きに続けてみようと思った。
- ② 少しとべても気持ちは変わらず、やめたいという思いのほうが強くなった。
- ③ うまくいかなない気持ちが強くなり、これから失敗がつづくと思った。
- ④ うまくいかなないと考え、れんしゅうは友だちにまかせようと思った。

(6) 話の最後で、そうたはどんな気持ちになったと考えられますか。文章の内容をもとに、そうたの気持ち分かるように書きましょう。

解答例)
少し自信が生まれ、またれんしゅうしてみようと思える前向きな気持ちになった